

パキスタン国 定期予防接種強化プロジェクト

JICA PROJECT FOR STRENGTHENING ROUTINE IMMUNIZATION IN PAKISTAN

全ての子どもに予防接種を。 ワクチン予防可能疾患から命を守る

パキスタン・イスラム共和国（以下、パキスタン）の基礎的保健指標は南アジア地域の中でも最低水準の状況にあり、5歳未満児死亡率は85.5（2015年、出生千対、WHO）、妊産婦死亡率は170（2015年、出生10万対）と高い上、現在もポリオ野生株の発生が残る国（常在国）2か国のうちの1つでもあります。近年でも麻疹やジフテリアと言ったワクチン予防可能疾患の流行が発生しており、依然として感染遮断ができていないポリオの発生とともに大きな保健課題となっています。パキスタン政府は母子の健康改善のために定期予防接種を保健セクターの重要課題の一つに掲げ、JICAや国際機関を含む開発パートナーとともに、ワクチン予防可能疾患から子どもの命を守るべく、予防接種活動の強化を行っています。



写真：レディ・ヘルスワーカーによる戸別訪問で予防接種を受ける少女。(c) Pakistan Federal EPI Program, 2016

JICAはパキスタンに対し1996年からポリオ対策及び定期予防接種強化のための無償資金供与や技術協力を行っています。これらの協力の成果をさらに拡大すべく、2014年11月から3年間にわたり「定期予防接種強化プロジェクト」をハイバル・パフトウンハー（KP）州で実施し、（1）ワクチン管理強化、（2）予防接種従事者によるサービスの質の向上、（3）サーベイランス強化、（4）啓発活動の4分野を中心とした技術協力を行っています。

こうした活動が、KP州における良質な予防接種サービス提供に必要な保健行政能力強化となり、予防接種に対する人々の理解を高め、ワクチンで予防可能な感染症の罹患率並びに乳幼児死亡率減少へ寄与すると期待されます。

パキスタンの主な母子保健・ 予防接種関連指標（2015、政府統計局、WHO他）

- ・5歳以下死亡率：85.5/1000
- ・乳児（1歳以下）死亡率：69/1000
- ・予防接種（完全）率：54%
- ・5歳以下低体重児割合：31.6%
- ・妊産婦死亡率：170/10万

- ・平均初婚年齢：
女性：19.5歳、男性：24.7歳
- ・合計特殊出生率：3.6
- ・出生届提出率：34%
- ・対人口15歳未満割合：32%

- ・ポリオ発生件数
（2015）54件
（2016年11月末現在）18件

KP州保健関連指標

- ・予防接種（完全）率：58%
- 都市部：74%
- 農村部：54%
- ・成人女性識字率
都市部：48.7%
- 農村部：22.3%
- ・医療施設での出産率
都市部：63.0%
- 農村部：38.2%

予防接種はコミュニティで。

レディ・ヘルスワーカー（LHWs）が子どもの命綱になる

パキスタンにおける定期予防接種には数多くの課題があり、乳幼児が2歳になるまでに接種すべき9つのワクチン予防可能疾患の完全予防接種率は54%（2015年、統計局）に留まっており、特に農村部・山間部や治安上の問題が多い地域でのワクチン接種率の低さが懸念されています。

このような状況に対して、パキスタン政府はJICAを含む関係機関とともに定期予防接種プログラムの強化を行い、公立の保健施設で常に予防接種を行えることを目指して施設整備や人材育成に努め、またレディ・ヘルスワーカーと呼ばれる基礎的な予防接種に関する訓練を受けたコミュニティ保健サービスを行う女性が家庭訪問して接種を促し、完全予防接種率の向上を図っています。しかし、KP州に限ってだけでも、人材や機材設備の不足から、1040の行政区のうち114区では常設の保健医療施設で予防接種を行うに至っておらず、ワクチン接種者による巡回や、レディ・ヘルスワーカーによる家庭訪問が唯一の予防接種を受ける機会という地域も少なくありません。特にKP州の保守的な地域では、女性や子どもが自宅の外に出ることを習慣的に認めないこともあり、まさにレディ・ヘルスワーカーによる家庭訪問が、ワクチン接種から子どもの命を守る命綱となっているのです。

また、パキスタンで予防接種を推進する障壁として、最も深刻なものの一つはワクチン接種に対する人々の否定的感情です。予防接種は政府が各家庭やコミュニティの様子を探る諜報活動の隠れ蓑である、ワクチンは健康被害をもたらすというような誤解やデマが広がっており、そのために全く予防接種を受けていない子どもたちが今も多く存在します。2013年の調査では、KP州では約12%の子どもが全く予防接種を受けていないというデータも出されました。レディ・ヘルスワーカーはこのような地域で母親たち（その多くは文字も読めない）に対する啓蒙活動を行い、予防接種の安全性を説明し、子どもの健康を守るために必要な医療であると説得して、無接種児を作らないよう活動しています。



ワクチンを入れた保冷バッグを持ち、山道を進み予防接種活動を行うレディヘルスワーカー。(c) SRIプロジェクト、2016

予防接種から広がる保健システム強化

JICAの支援によるプロジェクト活動では、KP州保健局や重点支援対象の3県の保健局に対し、予防接種という切り口から保健医療サービスの提供、人材育成・強化、保健情報マネジメント、機材維持管理と言った包括的な保健システムの強化を行っています。日本以外にも多くの国や国際機関が資金面でパキスタンの予防接種事業を支援していますが、それらの資金を適切かつ最も有効な形で活用し、良質なサービス提供につなげるための能力強化を行うJICAの支援は、他機関と相互補完的な支援としてその意義を評価されています。今後も子どもたちの命を守るべく、自立発展的な能力強化を目指した支援を実施します。